|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 第３回隊長・支隊長会議議事録 | | 発行日：２０１５，９，１９ |
| 作成者：事務局担当　窪田 |
| 件　名 | ２０１５年度　第３回自主防災隊　隊長・支隊長会議 | |
| 配布先 | 長谷川隊長、堤副隊長、石﨑、長、甲斐、小林（勝）、小林（洋）各代表支隊長  　　　　　　　　　　（支隊の出席者・関係者にコピーをお渡しください）  細野、小笠原、佐藤、遠山各本部隊員、上田会計、勝又青パト隊代表、林自治会総務、　　　　　　　小城情報・広報専門班リーダー、天野避難・救出専門班副リーダー、吉田自治会ＨＰ管理者 | |
| Ⅰ．開催日時：２０１５年９月１９日（土）　午前１０：００～１２：００  開催場所：小川会館　１Ｆホール  　　司会　　：窪田（事務局会議担当） | | |
| Ⅱ．出席者　：本部：長谷川隊長、堤副隊長  　　　　　　せんげん支隊：石崎さん、下小川支隊：長さん　かえで支隊：甲斐さん、  　　　　　　蜂谷戸支隊：小林（勝）さん、山澤さん、飯田さん、柳谷戸支隊：小林（洋）さん、池上さん、  　　　　　　小城さん（情報・広報班リーダー）、勝又さん（青パト隊代表）、林さん（自治会総務）  事務局：窪田　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　計１４名 | | |
| Ⅲ．全支隊より支隊長１名以上出席のため会議は成立 | | |
| Ⅳ．議題と結果（決定事項のみ記載）配布資料参照  Ａ．各支隊・専門班の活動報告  　　・蜂谷戸支隊小林代表支隊長からの要望で、投擲型消火用具「ファイレスキュ」の実験ビデオを全員で  　　　見る。（約５分）  　　　質問がいくつか出たが、それらはまとめて後日小林さんから製造会社に問い合わせてもらうこととする。  　　・他には特に発言なし。  Ｂ．第３回総合防災訓練実行委員会（拡大）からの報告  　　１）予備日を１１月７日（土）（時間は同じ）に変更、消防署の大規模震災訓練とバッティングしたため。  　　２）起震車による家具の転倒実験は実施するが模型はごく小規模なものになるとのこと。  　　３）感震ブレーカーのビデオを上映する。（約９分）煙体験のグループを２つに分け、ビデオと煙体験を入れ替えて実施する。（２０分の枠内で）  　　４）スタンドパイプ訓練は、せんげん支隊の消火隊（仮称）が模範演技を行い、それを見学した後、数組　　　の訓練を行う。消火隊の５人はベストを着用する。（支隊の運営経費で購入）  　　　　本部隊員、各支隊の支隊長で希望者には自治会所有のベスト（黄色）を着用してもらう。希望は本部  　　　　窪田までお願いします。（代表支隊長は必ず着用、他は数に限りがあります）  ５）防災アンケートは実施しない。代わりに「我が家の防災度チェック」を配布する。他に自治会だより  　　掲載の「知っておきましょう」シリーズをまとめた小冊子を配布する。  ６）新たに展示コーナーに複数の投擲型消火用具を説明用パネル２枚と共に展示する。  ６）１０月２５日当日の予定  　　・各支隊の旗出し訓練の時間は支隊に委ねる。  　　・会場セットアップは午前１０：００より行う。  　　・青パト隊は前日及び当日午前に青パト車で広報。  　　・支隊公園に１３：００集合、蜂谷戸公園には１３：３０集合。（プラカードを先頭に）  　　　出発に先立ち、各支隊は本部とトランシーバーで連絡を取る。  　　・下小川支隊はトランシーバーで本部・青パトと連絡を取りながらケガ人を青パトで搬送する。  　　　せんげん・かえで・柳谷戸支隊はリヤカーでケガ人を搬送  　　　蜂谷戸支隊は車椅子でケガ人を搬送  ・１３：４０、開会セレモニー　隊長挨拶、指導員紹介（南出張所、市役所、消防団）  　 ・組み分けは、Ａグループーせんげん、Ｂグループー下小川、Ｃグループーかえで  　　 Ｄグループー蜂谷戸、Ｅグループ―柳谷戸とするが、人数に大きな差がある場合は調整する。  　　・訓練は２０分のローテーションで行う。タイムキーパー上田さんの合図で移動する。  　　・展示コーナー、舟木さん宅の雨水タンクの見学、「我が家の防災度チェック」などは訓練の合間に  　　　行う  　　・アルファ化米の炊き出しは小川会館にて行う。  　　・１４：００訓練開始、１５：４０訓練終了。  　　　閉会セレモニー（消防署による講評、防災隊諸連絡等）  　　・１６：００閉会宣言・解散、アルファ化米（１パック）とビスケット（カンパン）（１缶）のお土産あり。  　７）当日担当の確認  　　・道路の立ち番２人（排水栓と公園までの道路の途中）蜂谷戸支隊に依頼。  　　・消防署からの資材搬送は横田浩さんと窪田が担当。  　８）蜂谷戸公園レイアウト  　　・当日状況を見て変更の可能性あり  ９）「我が家の防災度チェック」  ・不明な点、修正点などは今月中に窪田までご連絡お願いします。  １０）電源の確保　：５ヶ所（煙テント、水消火器、通報訓練、ビデオコーナー本部）  Ｃ．２０１５年度予算（修正）  １）執行済みの予算  ・トランシーバー：本体９台、付属品（イヤホンマイクセット）９セット  （３６，０００×９）+（８，６４０×９）＝￥４０１，７６０  ・トランシーバー現有４台の付属品（イヤホンマイクセット）４セット  ８，６４０×４＝￥３４，５６０  ・せんげん公園倉庫　　　　　　　　　　　　　　　　　　　￥１２１，８２４。  　 　　・スタンドパイプ　購入金額　　　　　　　　　　　　　　　￥１１０，１６０  　　　　　　　　　　　　　市補助金　　　　　　　　　　　　　　　￥　７３．４００  　　　　　　　　　　　　　負担金　　　　　　　　　　　　　　　　￥　３６，７６０  　　　　　　　　　　　計　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　￥５９４，９０４  　　　　　　　　　　　　　　（助成金￥２００、０００を差し引くと￥３９４，９０４）  ２）今後執行予定の予算  　　　・リヤカー（購入決定）： 　　　　　　　６６、５００×５＝￥３３２，５００  　　　　　・運営経費　　　：　　　　　　　（￥１００、０００増額）￥３００、０００  　　　　　　　　　　　　計　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　￥６３２、５００  　　３）予算状況  　　　　１、２００、０００―（３９４、９０４+６３２、５００）＝￥１７２、５９６（残）  　　※リヤカー（購入予定）  　　　昭和ブリッジ製折り畳みリヤカー（オールアルミ）販売：平城商事ＫＫ  　　　品番　ＳＭＣ－２Ｈ  　　　サイズ：使用時　　　　２１１０×１０９０×７００ｍｍ（長さ・幅・高さ）  　　　　　　　折りたたみ時　１３４０×３７０×７７０ｍｍ（長さ・幅・高さ  　　　最大積載量：　１３０Ｋｇ  　　　自重：　　　　　３１Ｋｇ  　　　タイヤタイプ：　２０インチ　ノーパンクタイヤ  Ｄ．トランシーバーの管理と運用**（配布の「トランシーバーの管理と運用」、参考資料を熟読してください）**  　　１）５支隊と本部、青パト隊にトランシーバー本体とイヤホンマイクセット一式を配布。  　　　　（支隊；各２台、本部２台、青パト隊１台計１３台）  　　　　・各組織は配布されたトランシーバー本体と、別途配布（代表支隊長）のトランシーバー管理表の番号、  　　　　　識別符号、製造番号が一致していることを確認する。  　　２）林さんから、「トランシーバーの管理と運用」並びに参考資料に基づき重要事項の説明。  　　　　・管理体制：各組織はトランシーバー管理者（正・副各１名を決定する。また、担当者（複数名）を  　　　　　置く。管理者２名が未定の組織は早急に決定して本部事務局に報告してください。  　　　　・管理者、担当者から保管責任者（原則支隊は正副管理者）を決め、保管責任者は自宅で保管する。  　　　　・緊急時に使用できる状態で保管し、バッテリーの充電状態を定期的に確認する。２～３ケ月に１度は  　　　　　充電状態を確認する。  　　　　　保管担当者が緊急時、不在、被災などの理由で使用できない場合に備えて、予め代替者を決めておくことが望ましい。  **・震度５強以上の地震発生時は、使用の如何にかかわらず電源をＯＮにし受信できる状態にする。**  　　　　・３ケ月に１度性能テストを行い、管理者は結果を記録、同時に本部へ報告する。  　　　　・訓練は、当面早急に、基本的な操作を十分に習得することを目的とする。その後、様々な場面を想定（設定）しての実践的な訓練を行う。管理者・担当者は定期的に訓練を行う。  　　　　・各組織は１０月２５日の総合防災訓練前に必ず対象者全員に使用訓練を実施してください。  　　３）トランシーバーの使用  　　　　・使用チャンネル：主チャンネルを２５ＣＨとし、副チャンネルを①２４ＣＨ、②２６ＣＨとする。  **・使用チャンネルを変更する場合は本部の指示による。**  ４）電波法に基づく申請・届出  　　　　９月５日付で申請、許可を受けている。（いつでも使用可能）  　　５）その他  　　　　・訓練時、東京都への報告に必要となる、トランシーバーを使用時の写真・記録を残しておくこと。  　　　　・トランシーバー管理者会議をできるだけ早く開催する予定です。改めて連絡します。  Ｅ．小川小学校第２回避難施設連絡会議報告  　　１）開催日時：８月１０日（月）１５：３０～１７：００  　　　　開催場所：小川小学校  　　　　出席者　：校長、市防災安全課２名、市指定職員３名、５関係自治会より９名（４自治会欠席）  　　２）議事  　　　　①小川小学校を避難施設として使用する自治会は９自治会  　　　　②小川小学校避難施設開設・運営マニュアルの扱い  　　　　　・９月２７日の訓練の後、小川小学校にて１回目の会議を開き、今後の方針を検討する。  Ｆ．小川小学校避難施設開設訓練  　　　　①日時　　９月２７日（日）午前９：００～１２：００  　　　　②場所　　小川小学校校庭に９：００集合  　　　　③服装　　訓練に適した軽装  　　　　※雨天中止  Ｇ．１１月８日（日）の防災研修  　　１１/８は自治会役員会、防犯連絡会が予定されているため、防災研修は後日に変更する。講師・講演内容は  　　長谷川隊長に一任する。  Ｈ．ボランティア保険、Ｉ．避難行動要支援者名簿　　次回以降の隊長・支隊長会議にて検討する。  Ｊ．その他  　　１）公園の藤棚を支隊の本部として利用するためブルーシートで覆うことに対し、周辺住民からクレーム  　　　　があった。（匿名）当該の支隊は、①非常時のみの使用であること。②市防災安全課・公園緑地課からの許可を受けていることなどを支隊便りで広報するほうがよい。  　　２）９/１３の役員会にて、非常時の場合の自治会未加入者の扱いをどうするのかという質問があった。趣旨は①自治会員と同等の扱いはするべきではない。②同等の扱いをすれば、退会する自治会員が出てくる。はっきり差別化して自治会に加入させるべきである、ということであった。  　　　　非常時体制検討委員会でも指摘されていたが、この問題は早急に検討しなければならない課題である。    　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上  　　◇次回（第４回）隊長・支隊長会議日程  　　　　　　１１月２９日（日）午前１０:００～１２：００（於小川会館） | | |